

春とともに区民待望の正蓮寺川公園オープン

千鳥橋から
上流230m、広さ1.4ha



島屋大橋まで全体が完成すれば西区の鞠公園に匹敵する19haの都市計画緑地になります。
2016～18年度は千鳥橋～福島区大開(1期)、2019～21年度は千鳥橋～森巣橋(2期)。
森巣橋から島屋大橋までの工事の時期は大阪市がまだ示していません。
千鳥橋の北と南から公園に入ると大きな芝生広場があり、歩行者専用道路の幅は20m。
道路沿いに「桜並木」があり南側には「ケヤキ並木」も。健康広場なども設置されます。
この1.4haの整備費用は約1億7500万円。17年度の予算は3億7千万円です。



4月2日の開園記念式典で公園に最初からかかわって来た市議員として「公害対策のために都市計画を変更したというのはおそらく日本中さがしても例がないでしょう。日本一の公害対策です」と挨拶させて頂きました。

公害反対 区民の運動がつくった公園

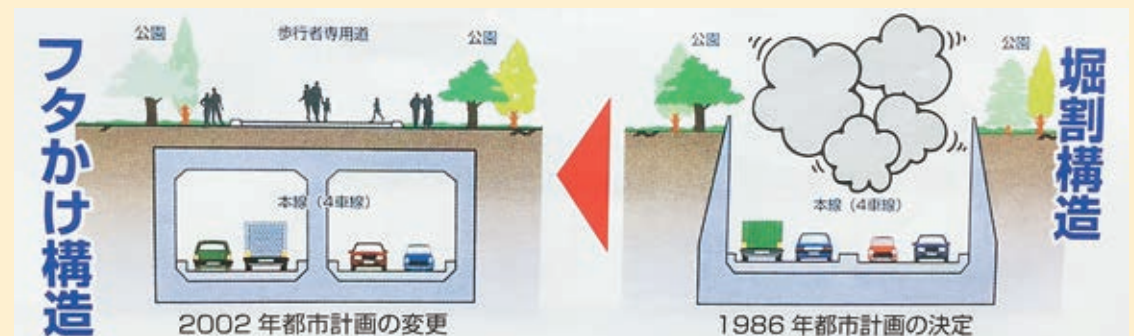
- 1986年 ▶ 高速道路が「掘割構造」で都市計画決定される
- 85～89年 ▶ 公害持ち込み反対の住民運動
- 1989年 ▶ 大阪市議会で全面フタかけを求める決議 全会派一致
- 1990年 ▶ 正蓮寺川区民の会が「正蓮寺川花と緑と水の公園」を提案
- 1991年 ▶ せと一正市議当選 フタかけを求めて17回質疑
- 2002年 ▶ 道路公団が「フタかけ構造」(トンネル化)へ都市計画を変更
- 09～11年 ▶ 換気所に脱硝装置の設置を求める住民運動
- 2013年 ▶ 高速道路が開通 淀川左岸線 島屋～海老江JCT間4.3km



せと一正
市会議員

公園のオープンを目にして、初当選以来26年、1期目の4年間、市議会で全面フタかけを求めて、17回も質疑し、他会派の議員さんから「フタかけ議員」のニックネームを頂いたことを思い出します。

高速道路の上にこんなに大きな公園ができるのは全国でも初めて。2期の千鳥橋西側には「イベント広場」もできます。地域みなさんと力を合わせ、人と活気を呼び込む立派な公園にして行きます。残された大きな課題である「コンクリート壁の撤去」や「せせらぎの実現」に向けても引き続き全力をあげてまいります。



せと一正 市会報告

2017年4月号

日本共産党せと一正市議員事務所
此花区西九条6-1-135 TEL6464-5157 FAX6465-0582
日本共産党大阪市議員団 HPアドレス
<http://www.jcp-osakasikai.jp/>





3月10日財政総務委員会で吉村市長に質問。大阪都構想は断念せよと迫らせと一正市議

都構想否決の住民投票結果を尊重せよ

大阪市を廃止する「特別区」の設置は住民投票で否決され決着済みです。吉村市長は都構想修正案づくりを公約に掲げて当選したが、それをもって住民投票の結果を無視しても良いことにはなりません。公約がどうであれ住民投票の結果に従うべきです。

都構想で良くなるなんてデタラメ!

都区制度である限り避けられない構造的な特徴があります。それは、①大阪市がなくなり「特別区」になれば大阪市民の広域行政についての自己決定権が奪われる、②財政調整制度を通じて大阪府の「ひも付き」の「半人前の自治体」になる、③国民健康保険などが市民から遠い「一部事務組合」になるという3つの「根本的欠陥」です。

総合区に名を借りた合区は許せません

吉村市長が提案している「総合区8区案」は総合区に名を借りて行政区を廃止するもので、地方自治法改正の趣旨(住民自治の強化)に反します。一方的に合区を提案するなんてとんでもありません。

都構想を進める議案は継続審査に

「都構想を進めるための議案」(特別区的设计図をつくる協議会の設置議案)は3月議会では議決できず、5月議会に先送りされました。

カジノで経済成長なんて嘘っぱち

カジノを夢洲につくろうとする事業者=外国カジノ資本の狙いは海外客ではなく日本人客です。大阪市も夢洲に来る1500万人のうち国内からは1200万人と予想しています。

「カジノではなくIR(統合型リゾート)だ」と言いますが、IRの売上の8割はカジノが占めているというのが実態です。

庶民の持ち金が賭博(カジノ)に消えてなくなってその分消費購買力が落ちるのにどうして経済が良くなるのでしょうか。

カジノ誘致は「亡国の国」づくり

カジノを推奨する人たちはアヘンの蔓延で滅びた国があった歴史の教訓を知らないのでしょうか。日本は今でもパチンコ・競馬・競輪などがあふれ世界一のギャンブル依存症大国。カジノの依存症の弊害はパチンコの比ではありません。カジノをストップして本格的な依存症対策を進めるべきです。

夢洲万博はカジノの隠れミノ

夢洲に客を集めるには鉄道が必要です。万博の開催はわずか半年間。万博鉄道はカジノへ客を運ぶものになります。

夢洲の万博開催がカジノ建設の隠れ蓑であることは明らかです。

万国博覧会を開催する地は、夢洲でなくても、吹田の万博記念公園も大仙公園もあるのではないのでしょうか。



2月25日のカジノシンポジウムで、パワーポイントを作って、報告するせと一正市会議員



毎年パソコンでバス時刻表をつくるせと一正市議

市営地下鉄・市営バスの廃止に維新・公明・自民が賛成

市営の地下鉄事業・バス事業を廃止する条例案が3月28日、維新・公明・自民の賛成でもって可決され、来年3月末で、市営地下鉄も市営バスも84年、90年の歴史に幕を閉じることになりました。日本共産党市会議員団は、公営企業であつてこそ安全と安心を守ることができる、廃止するのは暴挙だと主張し、民営化にキッパリと反対しました。

公営の方が優れているのに廃止したのは愚挙

市営地下鉄は年370億円の黒字、保有現金1500億円の超優良事業。公営のままならば可動式ホーム柵も市バスへの経営支援もできます。ところが民営化して株式の売却を目指そうとすれば、ホーム柵も市バス支援もできなくなります。こうした事実を隠して、民営化すれば何でもうまくいくかのようには言うのは、市民をごまかすものです。

株式会社に移行しても市民の利便を守るべき!

地下鉄は来年4月から「大阪市100%出資の株式会社」になり、バスはその子会社となります。しかし株式会社になっても株主は大阪市ですから、利潤追求に走るのではなく、市民の利便に奉仕しなければなりません。日本共産党は引き続き、バス便の改善や地下鉄の安全対策など市民の願い実現に全力を挙げます。地下鉄の株式を民間投資家に売却しようという「完全民営化」には断固反対して参ります。